

第5巻 平和な地球世界をめざして

もくじ

この本を読んでいただくみなさんへ 3

1 敗戦、焼土と化した日本から 4

疎開地で迎えた8月15日 8月15日(水・晴) / 8月16日(木・晴) / 戦争の一步前は
 ●コラム 浮浪児 / コラム 戦後の食糧難
 植民地朝鮮での8月15日 S氏の手記 / D氏の手記

2 新しい憲法と試練にさらされる憲法九条 12

二度と戦はしないと定めた憲法九条 夕焼け空
 ●読んでみよう 第九条(戦争の放棄)
 「あたらしい憲法のはなし」平和祈念像
 ●ことば解説 長崎平和祈念像
 播らぐ「戦争の放棄」戦争放棄 / ベトナムの戦争 / 湾岸戦争
 ●コラム ベトナム戦争 / ことば解説 集団的自衛権
 日本人が行った「悪魔の行為」を忘れずに 悪魔にならないために
 ●コラム 九条の会

3 豊かな社会になったというけれど—私たちの生活を見つめて— 26

学力競争の激化 かけざん
 ●ことば解説 日本の高度経済成長
 もっと自由がほしいんだ もっと自由がほしいんだ / 女子高校生からのメモ
 平和という幸せ 平和という幸せ

4 地球世界に平和と安心を 36

- 私たちに静かで平和な沖縄を返して
 沖縄の子どもの不安 生まれた時から
 沖縄米兵少女暴行事件 沖縄の訴えと日本の安全保障問題
 ●戦後沖縄の歴史年表
 沖縄だけでない基地におびえる地域 戦争さえなかったら
- 世界中のすべての子どもに教育の権利を 命のねだん
 マララさんの国連演説 一人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペンでも世界を変えられる
 日本の小学生・中学生に増える不登校 とまどろ / ぼくの本当の気持ち
- 地球環境を守れ—グレタさんのメッセージ
 進む異常気象
 グレタさんの呼びかけ 裏切るなら許さない
 ●ことば解説 バリ協定
- 東日本大震災と原発を考える
 東日本大震災とその後の生活 地震や津波でこわかったこと
 原発事故と放射能被害 持続可能な社会を目指して、私にできること
 放射能の学習

おわりに 若い読者への伝言 一あとがきにかえて 62

表紙 右「あたらしい憲法のはなし」の表紙。
 中 1972年12月1日、アポロ17号が撮影した「ザ・ブルー・マープル(青いビー玉)と呼ばれる地球の写真。(NASA)
 左 1946年、広島市の養安教室のようす。(広島市公文書館編「ひろしま今昔」広島市)
 裏表紙 長崎原爆資料館の屋上庭園にたつ「未来を生きる子ら」の像(ふりそでの少女像)。原爆遺族の平和への思いを京都の中学生たちがつなぎ、1996年3月にできた。(柿沼秀明撮影)

この本を読んでいただくみなさんへ

アジア・太平洋戦争で敗戦し、焼土と化した日本は、その復興に立ち上がります。子どもたちは、敗戦をどう受け止めたのでしょうか。

新しい日本の進むべき方向を定めたのが「日本国憲法」(1946年公布)でした。国の主権は天皇ではなく国民に、なによりも、戦争の放棄を規定した第九条は歴史的な意味をもっていました。この九条は、歴史の節々で大きな論争になっていきます。そして、今日、憲法九条の「改正」が国会で取り上げられようとしているのです。

1960年代に入ると、日本はめざましい経済的復興をとげていきます。テレビ、洗濯機、冷蔵庫など新しい電化製品の普及、家庭にも自動車が入ってきました。たくさんのお金を生産し、大量に消費していく社会が到来したのです。それを「豊かな社会」と受け止める風潮もありました。子どもたちにとってこの「豊かな社会」は、よいことばかりではありませんでした。そこでは、格差社会がひろがり、受験戦争に巻き込まれ、心を病む子どもたちが増えていったのです。

今日、私たちのまえには、日本の国内だけでなく、世界や地球に目をむけて真剣に考えていかなければならない重要な課題があります。ここでは、四つの課題を取り上げてみました。

第一は、日本にも、世界にも、数多くの軍事基地があり、とりわけ沖縄県ではアメリカ軍基地の存在によって命の危険を感じて生活せざるをえない事件が起きていることです。

第二は、世界には幼くして命をなくすたくさんの子どもの子どもたちがいて、教育を受けられない子どもたちも少なくないことです。

第三は、地球環境の危機です。気候危機による災害が多発し、温暖化を防ぐためにCO₂の排出を2050年にはゼロにすることが求められていることです。

第四は、東日本大震災の津波によって破壊された福島原発をどう考えるのかです。日本や世界に存続する原発エネルギーは、廃絶していくのか、あるいは、有効利用していくのかの課題に直面していることです。

日本の戦争の歴史を学んできたこのシリーズ最後の5巻は、これらの人類的な諸課題を調べながら一緒に考えてみることを呼びかけています。チャレンジしてみてください。

青少年諸君が空へ行く道は これだけある

陸軍省直轄養成

陸軍少年飛行兵学校 1カ年
航空兵予備教育
(国民学校初等科修了程度 学歴不問)

文部省航空訓練

中等学校3年以上生徒 **初級滑空訓練**

国民学校 **模型基礎教育**

航空局直轄養成

操縦生 1年
二等操縦士養成 (中等学校3年以上)

本科生 5年
機関士 整備士 操縦士養成 (国民学校初等科卒業)

航空機乗員養成所

大日本飛行協会航空訓練

中級滑空訓練『連合滑空訓練所』(航空青年隊員)

初等滑空訓練『地方滑空訓練所』(航空青年隊員)

模型航空機訓練 (航空少年隊員)

特別操縦員習士官
飛行操縦教育 1カ年
(大学予科専門高等学校等卒業)
飛行操縦の検定合格者又は操縦士免状、滑空機乗員の航空免状所持者は特に8カ月の恩典あり

陸軍飛行学校
高等飛行操縦教育 2カ年

陸軍航空整備学校
高等航空整備教育 2カ年

陸軍航空通信学校
高等航空通信教育 2カ年

海軍省直轄養成

整備科 1カ年
(大学 専門高等学校等卒業者工科系統)

飛行科 1カ年
(大学 専門高等学校等卒業者)

海軍予備学生

甲種操縦偵察教育 2カ年
(中等学校3年修了程度学歴不問)

乙種操縦偵察教育 2カ年
(国民学校高等科修了程度学歴不問)

飛行術練習生

操縦科 1カ年
乗員養成所を卒業し、下士官となつたる者

機関科 2カ年
中学 甲種工業卒業者 乗員養成所卒業、
下士官となつたる者

高等航空機乗員養成所

操縦 整備訓練 滑空訓練
『飛行訓練所』(大学 専門 高等学校生徒)

滑空指導員養成
『中央滑空訓練所』(中等学校卒業者)

特別操縦
将校として

各実施学校半カ年
下士官として

陸海軍航空部隊

予備現役
下士官又は
将校として

航空輸送事業

航空機工業

教官として

教官として

2

戦争に夢中になる子どもたち

—中国との戦争、上海・南京陥落—

ニュースで伝えられる戦争に

戦争中、日本では新聞やラジオが普及していました。大きな街では映画館も増えていきました。日本軍の戦闘については、新聞やラジオ、映画館でながれるニュースなどで毎日のように伝えられました。

うらやましい出征軍人

山形市立第八小学校 五年 古澤 正男

学校へくる道すがら
かどばたで
ばんざいばんざいと言う声
出征軍人だ
手には日の丸の旗が
にぎられている
占りょうした時
ばんざいばんざいと
この手と日の丸の旗を
ひるがえすのであろう
僕もなんだか軍人さんが
うらやましくなった



子どもが描いた文集の表紙絵。日の丸を振る子どもたち。

(山形市第八小学校 第五「生活の本」1937年)

作者は、出征軍人を送るなかで、「軍人さんがうらやましくなった」と書いています。この時期、男の子たちは「大きくなったらなになりにたい」と聞かれたら、「軍人さん」とこたえる子どもが多くなっていました。



大阪の浜寺双葉幼稚園で戦争ごっこで遊ぶ子どもたち。1932年3月。

(写真・絵画集成 日本の子どもたち2 15年戦争のなかで)

日本軍は、上海を陥落させた後、さらに、南京にむけて進軍していきました。そして、37年12月、南京を陥落させました。

南京陥落の朝

山形市第八小学校 尋六 安藤 清吾

「オーン、オーン」。落ちついた、しかも喜びに満ちたサイレンの音が朝の空気をゆるがせて響き渡った。あゝ、待ちに待っていた南京が落ちたのだ。僕は思わず心の中で万歳を叫んだ。いそいそと道具を揃えて学校に向う。町には軒並に国旗がひるがえっている。それが朝風の中にかかにも勇ましく感じられ、僕の足まで自然とはずんで来る。旗行列は何時だろう等と思いつながら、学校の屋上を見上げると、ここにもいつの間にかの丸がなびいていて、空は真青に晴れている。日の丸の色、空の色、つくづくいいなあと思った。気がついて見るととびが頭の上で輪を描いている。旗を持った子供が僕の前をひっきりなしに走って行く。このがんぜない(※)下級生や、五つ六つの幼い子供達も、わからぬながらも嬉しいのだろう。いくら、小さくても日本の子供だ。さっきのとびは、どこへ行ったのだろう。あゝ、見えた見えた。悠々と山形の上をとんでいる。それに付けても、本当の戦争はこれからだぞ。そう思うと僕の胸は自然に引き締まって来た。

(山形市第八小学校『みつばち(高学年)』1938年、4号)

*がんぜない：幼くてまだ是非・善悪をわきまえない。

南京攻落

南村山郡本澤小学校 尋六 本澤 盛亮

我が国は今、非常時であります。悪い支那の軍隊をすっかりうちこころして東洋の平和をつくらうと努力しているのです。昔は刀弓等で戦争をしたのですが、今は昔とちがって科学戦で、大砲機関銃等あらゆる文明の利器をつかって、戦争をするのであります。支那兵も蒋介石(※)の指揮に従って、他からとり入れた大砲や飛行機を使って、日本軍にむかっています。

しかし支那軍は北支でも中支でも口では強いことを言っていますが我が軍



南京占領を祝う東京・銀座のようす。「祝南京陥落」の旗がかり、アドバルーンも上がっている。
〔『画報躍進之日本』1938年2月号表紙〕

ひめゆり学徒隊の悲劇

アジア・太平洋戦争末期の1945年3月、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の女子生徒及び職員総計240名（教師18名・生徒222名）によって、「ひめゆり学徒隊」が組織されました。戦局が絶望的になると、6月18日、学徒隊は解散を命じられました。彼女たちは献身的な働きをします。しかし、既に沖縄のほぼ全域をアメリカ軍が支配しており、また周辺も既に激しい砲撃にさらされていたため、地下壕から出るとはほとんど死を意味しました。ある者は放火の犠牲になり、またある者は、配られた手榴弾で「自決」の道を選びました。ひめゆり学徒隊240名中、死亡者は生徒123名、職員13名におよびました。

ひめゆりの乙女たち

静岡県中学 二年 後藤 涼子

第三外科壕では

ひめゆり学徒隊解散の軍命令を受けた

先生と学徒隊の女学生が

最後の解散会を楽しんでいた

ボロボロの服は

まだ平和だった頃の

女学生の服に着替えられて

みんな玄米と軍用乾パンをもらい

歌を歌った

翌朝

壕の脱出の機会を待つ女学生の前に

米兵が現れた

「デテコナイト バクダシラ ナゲマス」

壕の中は異様な緊張感が漂い

女学生は息をひそめた

沖縄戦ではひめゆり学徒隊だけではなく、中学校、高校、女学校合せて21の学徒隊があった。

- 1 沖縄師範学校男子部（師範鉄血勳皇隊）
- 2 沖縄県立第一中学校（一中鉄血勳皇隊）
- 3 沖縄県立第二中学校（二中鉄血勳皇隊）
- 4 沖縄県立第三中学校（三中鉄血勳皇隊）
- 5 沖縄県立農林学校（農林鉄血勳皇隊）
- 6 沖縄県立水産学校（水産鉄血勳皇隊）
- 7 沖縄県立工業高校（工業鉄血勳皇隊）
- 8 那覇市立商工学校（商工鉄血勳皇隊）
- 9 開南中学校（開南鉄血勳皇隊）
- 10 沖縄師範学校女子部（ひめゆり学徒隊）
- 11 沖縄県立第一高等女学校（ひめゆり学徒隊）
- 12 沖縄県立第二高等女学校（白梅学徒隊）
- 13 沖縄県立第三高等女学校（なごらん学徒隊）
- 14 沖縄県立首里高等女学校（瑞泉学徒隊）
- 15 積徳高等女学校（積徳学徒隊）
- 16 昭和高等女学校（梯梧学徒隊）



●ひめゆり学徒隊の配置場所



（『ひめゆり平和祈念資料館ガイドブック』を参考に作成）

(2) 世界中のすべての子どもに教育の権利を

世界の子どもたちの現実^{じげん}に目を向けてみましょう。世界には人間・子どものいのちが大切にされないで、放置されたままになっている国や地域があります。理由は、戦争や紛争^{ぶんそう}があったり、貧困^{ひんこん}であったり、宗教^{しゆきう}の中にある保守的な価値観差別などによるものです。

命のねだん

小学校 五年 浅見 圭亮

「5歳までに死んでしまう子が、
1年に1200万人います。」
ユニセフ協会の好光さんが言った。
かわいそうに。
好光さんは、ピーカーの水に
塩を入れ、砂糖も入れて、
経口補水塩^{けいこうほすいしお}というものを作った。
水分^{すいぶん}を補い
下痢^{げり}で死ぬ子どもの命^{いのち}を救う。
その値段^{ねだん}10円。
10円で命が助かる。
10円がなくて死んでいく。
たったの10円。
人の命がお菓子と同じ。
貧しい国の人の命は10円なのだろうか。
同じ人間なのにひどすぎる。

(日本作文の会・子ども委員会編「ココロの絵本5地球ってだいじょうぶなの」大月書店、2001年)

日本に住んでいる私たちには、「人の命がたった10円」ということは実感できません。しかし、それは、世界の現実なのです。そうした中で、学校に通うこと、教育を受けることもできない子どもたちが放置されているのです。



国連で訴えるマララさん。(2013年7月、© Getty Images)

マララさんの国連演説

パキスタンのマララ・ユスフザイさん(1997年生まれ)は、2012年10月9日、15歳の時、スクールバスで下校途中、武装集団に銃撃され重傷を負いました。マララ・ユスフザイさんは、パキスタンのタリバン勢力^(*)の強い地域で、11の頃から、女子の教育を受ける権利を訴える活動をはじめました。しかし、そのことが理由で銃撃を受けたのです。マララさんは、現地で弾丸摘出手術を受けた後、イギリスの病院に移送され、一命をとりとめました。15歳の女子学生を狙い撃ちにしたテロ事件は、世界中に大きな衝撃^{いっしやう}をあたえました。

2013年7月、回復したマララさん(当時16歳)は、ニューヨークの国連本部で演説し、「すべての子どもに教育を受ける権利の実現を」と訴えたのです。

*タリバン勢力：アフガニスタンで活動する過激組織。アフガニスタン政府や同国駐留外国軍を主な標的としてテロを実行。2021年9月、タリバン組織は、アフガニスタン全土を支配下に置き、新政権の樹立を宣言した。